

令和元年度 若手砂防・土木技術者のための奥飛驒研修会の開催案内

公益社団法人 砂防学会 事業部会

近年、河川や砂防に関する技術的課題に対して、より解像度の高い地形計測、より計算精度の高い河床変動計算、家屋や道路考慮した詳細な土砂氾濫計算、流域スケールの土砂動態モデルなどが開発され、検討の幅が広がり、より高度な砂防事業が展開できるようになってきました。しかし、これらの技術の適切な活用は、現地状況や問題を見る目を養ってはじめて実行できます。そこで、砂防学会では、特定非営利活動法人山の自然文化研究センターと共催で、山地流域における土砂動態やそのモニタリング、または多種多様な砂防施設の機能と問題点などに関する現地研修会を企画しました。

研修会では、将来の砂防・土木技術者の有望な人材である学生の皆さんに対して、現役の国、民間等の技術者の皆さんから実際の業務内容について、やりがいや困難な点なども交えて伝えていただく場を設けるなど、技術者・研究者・学生の顔と顔を合わせた交流の場を提供する事も目的としています。

記

若手砂防・土木技術者のための奥飛驒研修会

主催：NPO 法人 山の自然文化研究センター

共催：(公社) 砂防学会

協力：京都大学・防災研究所附属流域災害研究センター・穂高砂防観測所

国土交通省北陸地方整備局・神通川水系砂防事務所

国土交通省北陸地方整備局・松本砂防事務所

1. 対象：砂防・土木技術者および学生（若手技術者、学生の皆様の参加を歓迎します）

2. 定員：100名（先着順）

3. プログラム（案）：

① 1日目 講習会（テーマや話題提供頂く講師の方々は、現在検討中です）

② 2日目 現地研修（下記の4つから選択）

- 山地溪流における観測技術
- 天然ダムの決壊実験
- 高原川流域における砂防施設の機能と効果
- 上高地における土砂動態とその実態

意見交換会

③ 3日目 砂防・土木技術者と学生の意見交換会

4. 実施場所：京都大学防災研究所附属流域災害研究センター穂高砂防観測所
（高山市奥飛驒温泉郷中尾）

アクセス：

最寄バス停は中尾高原（足湯前）（もしくは中尾高原口）

- ・ JR 高山駅から路線バスで約 1.5 時間
- ・ 新宿から高速バス→平湯温泉で乗り換え→路線バス
- ・ JR 富山駅からレンタカーで約 2 時間、特急バスで 2.5 時間
- ・ 富山空港からレンタカーで約 1.5 時間、特急バスで 2 時間

5. 開催日時：

令和元年 9 月 9 日(月) 15:00～11 日(水) 12:00

6. 費用：

① 参加費 無料

② テキスト代 1,000 円

③ 保険料 実費

④ 宿泊費 実費

（社会人：12,000 円/泊程度、

学生：7,000 円/泊程度）

⑤ d を選択された方 マイクロバス代 実費

⑥ その他（昼食代等）実費

7. 申込み方法：

氏名、所属、宿泊希望日、現地研修の第 1 希望から第 4 希望を、下記メールアドレスにお送りください。各現地研修の定員の関係上、ご希望に添えないこともあります。どうぞ、ご了承ください。基本的に主催者で宿の手配を行います。希望がありましたら申し込み時にご連絡ください。

8. 申込み期限：

令和元年 8 月 19 日(月)

9. 申し込み・問い合わせ先（事業部会担当）：

京都大学防砂研究所 穂高砂防観測所

宮田 秀介

E-mail: miyata.shusuke.2e@kyoto-u.ac.jp

TEL: 0578-89-2154

※ この研修会は技術士 CPD、建設系 CPD の対象になります。

以上